

甲の大ききもの指の也

一 甲の大ききもの指の也
香の大ききもの指の也
付くもの也

一 指の大ききもの指の也
蓋は南天の葉の也
七葉の也
昔の葉の也

一 指の大ききもの指の也
指の内の也

一 小刺の也
たの也

一 小刺の也
指の也

一 指の也
指の也

一 指の也
指の也

指の也

一 檣皮、抽の皮又、陳皮を刻之七葉は

女也、胃の邪氣を除物之故也

引、皮は組分る也

一 生姜、補め、海、^工 檣氣を去け、

式三、餅、組分る也

一 白塩、不浄を去、^工 之、入、

一 蘇心、の、時、の、湯、茶、の、湯、を、と、茶

ふ、と、舌、と、あり、貴人、^工 益、は、天目

湯、と、茶、を、包、捨、乃、さ、ら、と、

あり、相、使、の、茶、を、と、く、に、天目、は、入

茶、を、組、分、二、三、三、一、組、は、折、引

折、引、は、湯、を、引、也

一 破、茶、片、指、組、分、に、ま、り、付、ま、ん、ち、の

茶、の、方、あり、麦、の、破、茶、の、方、也、麦、の、破

茶、の、ま、り、と、付、ま、ん、ち、也

一 三、葉、三、麵、を、よ、初、冬、初、麵、と、生、飯、と

ま、り、付、ま、ん、ち、は、他、の、種、類、は、茶、は、

さ、ら、と、付、ま、ん、ち、也

一 檣、茶、方

一 好、茶 一 耳、草、生 一 白、檀

一 概茶方

一 好茶 一 甘草 一 白檀

一 丁子 一 桂心 一 胡椒

右細茶丸一合 紹の衣をうけ 紙の包

意を看りしに 試みたり 乱石の付

定まりしは也

一 湯茶方

一 陳皮 大 一 白朮 大 一 丁子 女 一 胡椒 女

一 同方

一 荳蔻 一 桂心 一 干姜 一 丁子

一 陳皮 一 胡椒 一 白檀

右細茶一紙の包 あり也

一 點心の粉

一 胡椒 一 杏仁 一 山椒

右三石を粉にして 志ありし 七葉よ 煎す

一 鳥類上置のり

一 白朮 水うき又 一 露 黄蘗 首骨

一 菱喰くらん豆 一 厚 あり如記

一 鴨 赤あり 一 女位 諸習々類

一 鰯をおひ付鰯と網よの遠ひあり鰯

たうつとせ焼魚をおひ付ありを鰯よ
鰯は網うつと横よ鰯之目付

一 狸麻糸の汁の式の付ありとも梳よ
鰯もも也おひ付あり

一 鰯合をぬあり

一 猪ニ兔

一 辛螺ニおんまや

一 きー狸

一 狸ニ鰯の魚

一 干鰯ニ菜螺

一 鰯ニいのり

古食合より付ハ物をとま

一 奥鳥組合の次

一 左ニ山の物

一 右ニ川海の物

げんまそ山の名田名海川の奥鳥を

別名一 鰯れ名ハ何付もたよ

引あり

一 鰯の包焼柏板を七す申の鰯の飯の

中一 徳島布一 串材苺子焼糸を

焼也け音ハ炭よ網ををるるあり也

一 倉下甲之付ありあり中前著の力

中ノ結晶布一申材女子焼糸を
焼也付者ハ常に細をこもるる事也
一食ヨ甲立付るる神前ハ著の方
佛前ハ葉の方ヲ付也

古是傳也ノ時ハ秘事依所執ハ深
記之ノ事ハ多ク見立也

上原ハ大書

水信下也

曰傳方書

を多分大書

善方也の形



寛保二年

十日

古是借年之詩為秘事依此執心深
就之平年無事之印見古也

上原八右衛門

宣直

水橋下也

之成

日傳右衛門

之實

色多如紋右衛門

正服

善方如の形



寛保三年

十日

吉田右衛門殿